

平成24年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,638	2,564	△74	(注1)
うち補正予算による追加	0	39	39	
施設整備費補助金	0	0	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	0	1	1	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	17	17	0	
自己収入	364	382	18	
授業料、入学料及び検定料収入	220	220	0	
附属診療所収入	88	103	15	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	56	59	3	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	223	207	△16	(注5)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	3,242	3,171	△71	
支出				
業務費	3,001	2,712	△289	(注6)
教育研究経費	2,856	2,536	△320	
診療経費	145	176	31	
施設整備費	17	15	△2	(注7)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	1	1	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	223	11	△212	(注9)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	3,242	2,740	△502	
収入－支出	0	431	431	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減により一般運営費交付金が110百万円削減されたため、また、復興関連事業として補正予算が38百万円追加されたため、予算額に比して決算額が74百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注3) 附属診療所収入については、主として患者数が増加したこと等により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として消費税が還付されたこと等により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究、受託事業及び寄附金の獲得が不調だったため、予算額に比して決算額が16百万円少額となっています。
- (注6) 業務費のうち教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が320百万円少額となっています。また、診療経費については、主として患者数が増加したこと等による費用の増加等により、予算額に比して決算額が31百万円多額となっています。
- (注7) 施設整備費については、計画変更により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が212百万円少額となっています。